

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

専門課程 産業デザイン学科 グラフィックデザイン専攻

授業科目名	区分		配当年次 ・学期	授業時数
	必修	選択		
デザイン概論	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅰ	○		1年・前期	30
基礎造形Ⅱ	○		1年・後期	30
コンセプトメイキング	○		1年・前期	60
デッサン	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅰ	○		1年・前期	60
グラフィック基礎Ⅱ	○		1年・前期	60
印刷・レイアウト基礎	○		1年・前期	60
DTP演習Ⅰ	○		1年・前期	60
基礎デザインⅠ	○		1年・前期	60
ビジュアル表現	○		1年・前期	60
グラフィック演習	○		1年・後期	60
基礎デザインⅡ	○		1年・後期	30
広告デザイン演習Ⅰ	○		1年・後期	60
印刷・レイアウト演習	○		1年・後期	60
DTP演習Ⅱ	○		1年・後期	30
WebデザインⅠ	○		1年・後期	30
撮影基礎	○		1年・後期	30
パッケージデザインⅠ	○		1年・後期	30
グラフィック表現テクニック	○		2年・前期	60
インフォメーションデザイン	○		2年・前期	60
コミュニケーションデザイン	○		2年・前期	60
広告デザイン演習Ⅱ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅲ	○		2年・前期	60
DTP演習Ⅳ	○		2年・前期	60
WebデザインⅡ	○		2年・前期	60
専門技術演習A				
ブランディングデザイン		○	2年・前期	60
アートディレクション				
撮影テクニック				
専門技術演習B				
パッケージデザインⅡ		○	2年・前期	60
広告プランニング				
シルクスクリーン				
英語	○		1年・前期	30
合 計				1470

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道芸術デザイン専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>■授業計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科指導担当教員がシラバスを作成し教務部へ提出。 シラバス記載内容：指導担当者と実務経験/授業概要/到達目標/授業計画/評価方法/履修上の留意点等。 シラバスは、以下の PDCA サイクルに基づき策定。 <ul style="list-style-type: none"> 1 月：教育課程編成委員会で各専攻教育課程試案を提示、外部委員と意見交換。 3 月：新年度教育課程に基づいて各教科の指導内容等を協議・確認する講師会議を実施。8 月：教育課程編成委員会で運用中の教育課程について状況を報告し、助言を踏まえ必要に応じ改善を実施。 	
<p>■授業計画の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> 各専攻の教科目概要 PDF を公式 HP で公開 各専攻シラバスを公式 HP で公開 	
授業計画書の公表方法	https://bisen-g.ac.jp/about/public_data/ <small>※上記ページから専攻別のリンクあり</small>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>学則第 12 条・13 条に基づき以下の方法で認定。</p>	
<p>■各教科の履修認定</p> <ul style="list-style-type: none"> 到達目標に対する達成度/出席状況/課題提出状況を総合的に勘案。 評価方法等は入学後のクラスオリエンテーションで各担任が学生へ周知。 各教科の評定等は成績表に記載し、学期末に保護者へ送付。 	
<p>■進級の認定</p> <ul style="list-style-type: none"> 進級制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 審査会の集計結果を踏まえ、進級要件を満たしているか認定会議で判定。 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>■客観的な指標の設定・公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修科目の5段階の成績評価をつぎの配点でGP(ポイント)化する。 秀→4.0 優→3.0 良→2.0 可→1.0 不可→0 <p>GPAは次の計算式に従い算出する。 $GPA = (GP \times \text{科目の単位数}) / \text{履修科目の単位数の合計}$ </p> <p>※不可・不合格と判定されたり履修を中止した授業科目はGP=0とする。</p> <p>■成績評価の適切な実施に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績管理システムに上記GPA算出式によるGPA帳票出力を開発 ・GPA帳票により成績分布状況を的確に把握し、期末時に指導可能な体制を整備 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://bisen-g.ac.jp/know/files/pdf_grade_2021.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>■卒業認定の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作作品に専攻の特性が活かされているか、在学期間中の集大成としてふさわしい成果物かどうか、各専攻の最終審査に基づき合否を判定。出席率・卒業制作以外の課題提出状況等、他の要件も勘案し卒業を認定。 <p>■卒業の認定に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業制作要項に基づき、所定期間内で制作した提出物を審査会で評価。 ・評価方法等は事前に要項で学生に明示、集計表および合否は校内に掲示。 ・審査会の集計結果を踏まえ、卒業要件を満たしているか認定会議で判定。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://bisen-g.ac.jp/know/files/pdf_promotion_2021.pdf</p>

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：長谷川 かわり、和田 夏美（専任教員）
実務経験：長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名：デザイン概論

履修形態：必修
授業形態：講義＋演習
履修学年：1年次
開講学期：前期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているのか、各種事例研究を通じて理解するとともに、アートとデザインの違い、広告制作をはじめとした何らかの情報伝達を行う際に、クリエイターとして留意すべき点等について学ぶ。

■到達目標：1:社会の中でグラフィックデザインがどのような役割を担っているか理解している。
2:課題制作において「誰に」「何を」「どう伝えるか」を意識して取り組むことができる。
3:リサーチやブレインストーミング・プレゼンテーションなど、他者との協働による作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 ガイダンス、デザインの代表的な分野・領域
- 第2回 デザインとアート、情報の伝達
- 第3回 広告とは(新聞広告等を用いた事例研究)
- 第4回 企画とは(アイデアを出すための視点)
- 第5回 グループワーク①(第三者へモノ・コトの魅力を伝える)
- 第6回 グループワーク①(第三者へモノ・コトの魅力を伝える)
- 第7回 グループワーク①(プレゼンテーション・講評)
- 第8回 関係性の可視化(視点の動かし方、他者の視点を知る)
- 第9回 関係性の可視化(視点の動かし方、他者の視点を知る)
- 第10回 関係性の可視化(プレゼンテーション・講評)
- 第11回 グループワーク②(作業マニュアル作り)
- 第12回 グループワーク②(作業マニュアル作り)
- 第13回 グループワーク②(プレゼンテーション・講評)
- 第14回 グループワーク②(フラッシュアップ)
- 第15回 グループワーク②(フラッシュアップ)

■教科書：

■参考書：現代デザイン事典、図とイラストで伝わるデザイン

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 新明 史子 (非常勤講師)
実務経験： オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名： **基礎造形 I**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 前半は検定試験公式テキストを使用し色彩理論の基礎を学ぶ。後半は基礎的な平面構成課題を通して構成力・イメージの抽象表現力・実用的な色彩感覚等を養う。

■到達目標： 1: 色彩士検定取得に向けて、演習を通して色彩理論の基礎が身に付いている。
2: 色彩及び構成の基礎を学び、用途やデザインに適した配色が出来る。
3: 積極的に課題に取り組み、より完成度の高い作品を目指す向上心を発揮できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション・色彩の基礎①(色の成り立ち・混色)
- 第2回 色彩の基礎②－1(色の三属性・色相環)
- 第3回 色彩の基礎②－2(色の三属性・色相環)
- 第4回 色彩の基礎③(PCCSトーン)
- 第5回 色彩の基礎④(明度・彩度とPCCSトーン)
- 第6回 色彩の基礎⑤(対比効果)
- 第7回 色彩の基礎⑥(視認性・色の連想とイメージ)
- 第8回 配色の研究(事例リサーチ)
- 第9回 色彩と構成①(パターンデザイン)
- 第10回 色彩と構成②(パターンデザイン)
- 第11回 色彩と構成①(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第12回 色彩と構成②(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第13回 色彩と構成③(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第14回 色彩と構成④(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)
- 第15回 色彩と構成⑤(パターンを用いた糸綴じノートブックのデザイン)

■教科書： カラーマスターBASIC 配色カード158b

■参考書： 配色デザイン見本帳

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 新明 史子 (非常勤講師)
実務経験： オリジナル絵本の制作ユニットを主催し、本の企画提案・グラフィックデザイン・テキスト制作・製本等に携わっている。

科目名： **基礎造形Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 平面から立体へ展開しながら、紙という材料の基本的な加工方法や、その特性、紙を使った造形の可能性を学ぶ。素材や資料の研究、アイデアを形にするための積極的な実行力や企画力、的確な計画性などの重要性を理解する。

■到達目標： 1: 紙の基本的な加工方法・紙の目・厚さ・種類等の特性を知り適切な紙を選べる。
2: オリジナルの本作りを通して企画力・表現力を高め、基本的な製本技術を理解している。
3: もの作りの本質を考え、表現の幅を広げながら丁寧な手作業が出来る。

■授業計画：

- 第1回 紙の造形①(モビール)
- 第2回 紙の造形②(モビール)
- 第3回 紙の造形③(モビール)
- 第4回 紙の造形④(モビール)
- 第5回 造本(文庫本のハードカバー製本)
- 第6回 造本(和綴じ・折帖)
- 第7回 ブックデザイン①(紙を活かした視覚的に美しいデザインの本を考える)
- 第8回 ブックデザイン②(ページ数・大きさ・製本方法等を考え試作を作る)
- 第9回 ブックデザイン③(試作をもとに本文を制作)
- 第10回 ブックデザイン④(試作をもとに本文を制作)
- 第11回 ブックデザイン⑤(試作をもとに本文を制作)
- 第12回 ブックデザイン⑥(美しさと強度を両立させた製本)
- 第13回 ブックデザイン⑦(美しさと強度を両立させた製本)
- 第14回 ブックデザイン⑧(美しさと強度を両立させた製本)
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書： デザイナーズハンドブック

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験： 広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、
広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コンセプトメイキング**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： コンセプトは何か、デザインとは何かを考えるなかで、
今、この時代におけるデザインの必要性と可能性を学ぶ。

■到達目標： (1)デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、
あらゆる場面においてデザインの意義や価値を見出すことができるような視点とマインドを持つ。
(2)それぞれがデザインとの関わり合い方を自己検索することができる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 手を動かす前に考えること①(頭を使う技術を鍛える)
- 第3回 手を動かす前に考えること②(グループワーク)
- 第4回 手を動かす前に考えること③(プレゼンテーション)
- 第5回 プロジェクト①(一連のプロジェクトをデザインする)
- 第6回 プロジェクト②(一連のプロジェクトをデザインする)
- 第7回 プロジェクト③(一連のプロジェクトをデザインする)
- 第8回 プロジェクト④(一連のプロジェクトをデザインする)
- 第9回 プロジェクト⑤(プレゼンテーション)
- 第10回 デザインの収集①(デザインの収集、批評)
- 第11回 デザインの収集②(リデザイン)
- 第12回 デザインの収集③(プレゼンテーション)
- 第13回 コンセプトの理解と表現①(本の装丁)
- 第14回 コンセプトの理解と表現②(本の装丁)
- 第15回 コンセプトの理解と表現③(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 小田 啓介 (非常勤講師)
実務経験： フリーのイラストレーター。グラフィックデザイナー、webデザイナーとしても活動。現・北海道イラストレーターズクラブアルファ会長・フリーペーパー「イララ」編集長・北海道版画協会会員・

科目名： **デッサン**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 最も重要な基本的技術であるデッサン力を学ぶ。繰り返しデッサンを描くことで必要なさまざまな技術、特にグラフィックデザイナーに必要な「観察力」を養う。決められた時間でモチーフ、モデルを観察して素描するクローッキーを通じて、物事を観察し、理解し、言語化できることを目指す。

■到達目標： 平面表現の基本である、輪郭補助線と面の関係、陰影、質感、量感、遠近法などを理解して、人に意図が伝わるデッサン表現ができる。またデッサン力の重要性を認識し、その能力を自分自身の力で今後も伸ばしていける、基礎力を身につける。

■授業計画：

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 第1回 | グラフィックにおけるデッサンの重要性、また基本的理論と技法について |
| 第2回 | 人物クローッキー① |
| 第3回 | 静物デッサン①(直方体) |
| 第4回 | 静物デッサン①(直方体) |
| 第5回 | 人物クローッキー② |
| 第6回 | 静物デッサン②(円柱) |
| 第7回 | 静物デッサン②(円柱) |
| 第8回 | 人物クローッキー③ |
| 第9回 | 静物デッサン③(自分でモチーフを選び描く) |
| 第10回 | 静物デッサン③(自分でモチーフを選び描く) |
| 第11回 | 静物デッサン③(自分でモチーフを選び描く) |
| 第12回 | 人物クローッキー④ |
| 第13回 | 静物デッサン④(自分でモチーフを選び描く) |
| 第14回 | 静物デッサン④(自分でモチーフを選び描く) |
| 第15回 | 静物デッサン④(自分でモチーフを選び描く) |

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名： **グラフィック基礎Ⅰ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

- 科目概要： (1)デザイン道具の正しい使い方を知り、グラフィックデザインの構成要素を使っての演習により「基礎知識」と「表現方法」を身につける。
(2)表現する、できる楽しさを体験しデザインの魅力を実感する。(3)文字情報の扱い方スキル定着を図る。
- 到達目標： 1: 情報やメッセージを伝える方法を3点以上発想することができ、アイデアを可視化することができる。
2: デザインを表現、定着させるための基礎的手作業を行うことができる。

■授業計画：

- | | |
|------|---|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | デザイン道具を使ってみる(ペーパークラフトによるアドカーの制作) |
| 第3回 | デザイン道具を使ってみる(ペーパークラフトによるアドカーの制作) |
| 第4回 | デザインの基礎知識にふれる(コラージュによる平面構成) |
| 第5回 | デザインの基礎知識にふれる(コラージュによる平面構成) |
| 第6回 | デザインの基礎知識にふれる(仕上げ作業・完成作品発表と鑑賞会) |
| 第7回 | 基礎的表現力と技術力をつける①(文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作) |
| 第8回 | 基礎的表現力と技術力をつける①(文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作) |
| 第9回 | 基礎的表現力と技術力をつける①(文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作) |
| 第10回 | 基礎的表現力と技術力をつける①(文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作) |
| 第11回 | 基礎的表現力と技術力をつける①(文字をアイコン化したカフェブランドのスリーブ制作) |
| 第12回 | 基礎的表現力と技術力をつける②(イベントノベルティ制作) |
| 第13回 | 基礎的表現力と技術力をつける②(イベントノベルティ制作) |
| 第14回 | 基礎的表現力と技術力をつける②(イベントノベルティ制作) |
| 第15回 | 基礎的表現力と技術力をつける②(イベントノベルティ制作) |

■教科書： デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 堀 じゅん子 (非常勤講師)
実務経験： グラフィックデザイナー・イラストレーターとして広告代理店に勤務後独立し、
デザイン制作会社経営

科目名： **グラフィック基礎Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 造形要素の特性を把握し、プロポーシオンやコンポジション、シンメトリー等造形要素がもたらす秩序と配色調和について学ぶ。後半では制作物の目的やターゲット層を意識しながら、前半の学びを応用した課題制作に取り組む。

■到達目標：
1: 点・線面・など造形の基本的な構成要素について理解している。
2: 黄金比を活用した面分割による画面構成の効果について理解している。
3: 与えられたテーマについて、目的や伝える相手を意識しながらイメージを可視化する方法を工夫出来る。
4: 制作物と提案内容についてわかりやすくまとめ、第三者へプレゼンテーションできる。

■授業計画：

- | | |
|------|-------------------|
| 第1回 | 構成の要素①(点・線による構成) |
| 第2回 | 構成の要素①(点・線による構成) |
| 第3回 | 構成の要素②(面による構成) |
| 第4回 | 構成の要素②(面による構成) |
| 第5回 | 構成の要素②(面による構成) |
| 第6回 | 構成の秩序(リズムとルール) |
| 第7回 | 構成の秩序(リズムとルール) |
| 第8回 | クライアントワーク(コンペ課題A) |
| 第9回 | クライアントワーク(コンペ課題A) |
| 第10回 | クライアントワーク(コンペ課題A) |
| 第11回 | PRポスター(コンペ課題B) |
| 第12回 | PRポスター(コンペ課題B) |
| 第13回 | PRポスター(コンペ課題B) |
| 第14回 | PRポスター(コンペ課題B) |
| 第15回 | PRポスター(コンペ課題B) |

■教科書：

■参考書： 構成学のデザイントレーニング、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社を運営し、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名： **印刷・レイアウト基礎**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 単色印刷からフルカラー印刷まで、演習課題を通じて文字組とレイアウトの基礎テクニックを習得しながら、ひとつの印刷物が出来上がるまでのワークフローを理解する。

■到達目標： (1)ビジュアルと文字を組み合わせながら、全体をバランス良く配置できる。
(2)印刷の基礎知識を身に付けると共に、印刷物制作のワークフロー・係るスタッフの関係性を理解している。
(3)必要に応じてアプリケーションを選択し、アナログ作業も活かしたデザインができる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、自己紹介・イメージトレーニング
- 第2回 印刷概論 レイアウト基礎①(1C印刷による制作物)
- 第3回 印刷概論 レイアウト基礎①(1C印刷による制作物)
- 第4回 印刷概論 レイアウト基礎②(2C印刷による制作物)
- 第5回 印刷概論 レイアウト基礎②(2C印刷による制作物)
- 第6回 印刷概論 レイアウト基礎②(2C印刷による制作物)
- 第7回 印刷概論 プリンターの機能実習(手差し両面印刷)
- 第8回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第9回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第10回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第11回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第12回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第13回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第14回 レイアウト基礎③(4C印刷による制作物)
- 第15回 プレゼンテーション、講評

■教科書： デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社のクリエイティブ部門でグラフィックデザイナーとして勤務後、スポーツイベント企画運営会社にてデジタル媒体の企画・制作などを担当。

科目名： **DTP演習 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： (1) アプリケーションの操作方法、デジタルデータの基礎知識や管理の方法を学ぶ。
(2) 課題を通して、検定試験や後期授業に向けた知識と技術の習得を目指す。
(3) IllustratorとPhotoshopの特徴の理解・役割の把握・連動させた操作など反復練習でスキル習得。

■到達目標： (1) 印刷を前提としたデジタルデータを制作することが出来る。
(2) アプリケーションの特性を理解し、作業手順を段取り良く組み立てることが出来る。
(3) 第三者が閲覧・操作しても分かりやすいデジタルデータの制作、データの管理が出来る。

■授業計画：

- 第1回 DTPに必要な基礎知識、システム・macOS・ソフトウェアについて
室内設備について、使用時のルール、教室内でのPC接続と操作方法 他
- 第2回 【Illustrator】Lesson01 Illustrator基礎知識・操作、主なツールの操作説明Lesson02 図形を描く
Lesson08 色の設定、練習問題
- 第3回 【Illustrator】Lesson03 線を描く／Lesson09 線の設定、練習問題、トレース練習
- 第4回 【Illustrator】Lesson05 オブジェクトの変形／Lesson07 オブジェクトの合成(パスファインダー)
Greeting Cardの制作 Vol.01 (My Face)
- 第5回 【Illustrator】Lesson06 オブジェクトの編集／Lesson07 オブジェクトの合成、練習問題、トレース練習
- 第6回 【Illustrator】Lesson10 文字を扱う、練習問題、トレース練習
Greeting Cardの制作を通して各ツール練習
- 第7回 Greeting Cardの出力(出力機械について・出力の仕方)、PDF化、トレース練習
実践に必要な基礎知識(トリムマーク・裁ち落とし 他)
- 第8回 【Illustrator】Lesson04 フリーハンドで描く／Lesson11 透明の設定、トレース練習
Illustratorの機能・操作のおさらい(新規制作～データ保存～提出 等)
- 第9回 【Illustrator・Photoshop】Lesson15 出力データの作成(画像配置)、トレース練習
Illustratorの機能・操作のおさらい(PDF化・画像へ書き出し 等)
- 第10回 【Photoshop】Lesson01 Photoshopの基礎知識・操作、主なツールの操作説明
Lesson02 選択範囲をマスターする、画像解像度・保存形式について
- 第11回 【Photoshop】前回の復習(選択範囲)、Lesson07 マスクと切り抜き、練習問題
Lesson10 写真の色を補正する／Lesson11 写真の修正・加工、練習問題
- 第12回 【Photoshop】Lesson12 画像の合成／Lesson08 フィルター、練習問題
- 第13回 Illustrator・Photoshopの機能・操作のおさらい
- 第14回 【Illustrator】規定サイズの入稿データを作成(画像配置・レイアウト・文字 等)
【Photoshop】写真の補正・切り抜き・合成など
- 第15回 【Illustrator】規定サイズの入稿データを作成(画像配置・レイアウト・文字 等)
【Photoshop】写真の補正・切り抜き・合成など

■教科書： 『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』
『入稿データのつくりかた』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名： **基礎デザインⅠ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： グラフィックデザインの重要な構成要素である「文字」について基礎知識から実践までを理解する。文字の歴史やレタリング・タイポグラフィの基礎知識、技術基礎、書体(フォント)の種類とイメージについて広く学びながらリサーチ力や応用力を身につける。また、アナログからデジタルまでの一連の流れを理解する。

■到達目標： 1:グラフィックデザインにおける「文字」の重要性や多様性について理解している。
2:基本的な造形力や書体の選択力を身に付け、紙面構成や媒体に合わせた書体選択ができる。
3:プレゼンテーションを通じて相手に制作意図を的確に伝えることができる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション・自己表現
- 第2回 自己表現・プレゼンテーション
- 第3回 文字(フォント)に関する基礎知識・フォントイメージの収集
- 第4回 フォントイメージの分類・分析
- 第5回 文字に関する基礎知識・演習(和文・欧文・レタリング・タイポグラフィ・フォント)
- 第6回 タイポグラフィ基礎、タイポグラフィ①(文字あそび)
- 第7回 タイポグラフィ①(文字あそび)
- 第8回 タイポグラフィ①(文字あそび)
- 第9回 タイポグラフィ②(オリジナル書体)
- 第10回 タイポグラフィ②(オリジナル書体)
- 第11回 タイポグラフィ②(オリジナル書体)
- 第12回 タイポグラフィ②(オリジナル書体)
- 第13回 タイポグラフィ③(オリジナル書体の展開)
- 第14回 タイポグラフィ③(オリジナル書体の展開)
- 第15回 タイポグラフィ③(オリジナル書体の展開)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 浅野 ルリ子 (非常勤講師)
実務経験： フリーランスイラストレーターとして、パンフレット・ポスター・装丁等広告物のイラストレーション制作を手掛ける。

科目名： **ビジュアル表現**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 各種画材(水性色鉛筆、パステル、ガッシュ、マーカー)の基礎的な知識と使い方を学び、その中からそれぞれの画材の持つ印象を理解し、イメージに合わせた画材選びを工夫する。デジタルとは異なる表現方法を研究し、様々な課題制作に応用できる自由な発想力を身に付ける。

■到達目標： 1: 画材の基本的な使い方とそれぞれの画材が与える印象を理解する。
2: 手作業の持つ面白さや表現の強さを感じ取り、デジタルとは違う魅力を理解する。
3: 道具の扱い方や後始末など、丁寧な作業が習慣的にできる。

■授業計画：

第1回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
第2回 課題①(水彩色鉛筆による表現)
第3回 課題②(パステルによる表現)
第4回 課題②(パステルによる表現)
第5回 課題②(パステルによる表現)
第6回 課題③(アクリルガッシュによる表現と絵本制作)
第7回 課題③(アクリルガッシュによる表現と絵本制作)
第8回 課題③(アクリルガッシュによる表現と絵本制作)
第9回 課題④(マーカーを用いたキャラクターデザイン)
第10回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
第11回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
第12回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
第13回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
第14回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)
第15回 課題⑤(紙粘土を用いたキャラクターデザインの立体化)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 山本 睦子 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名： **グラフィック演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： (1)実践的課題演習により前期で身に付けた基礎的表現力や技術力をさらに高める
(2)文字情報の扱い方スキルアップ
(3)完成までの工程を自己管理し定着できる実力をつける

■到達目標： 情報やメッセージを伝達するための工夫を行い、ビジュアル、文字、色彩、レイアウトなどを考え、手作業とデジタルの両面で定着することができる。

■授業計画：

- 第1回 実践的表現力と技術力を身につける①(メッセージポスター)
- 第2回 実践的表現力と技術力を身につける①(メッセージポスター)
- 第3回 実践的表現力と技術力を身につける①(メッセージポスター)
- 第4回 実践的表現力と技術力を身につける①(メッセージポスター)
- 第5回 実践的表現力と技術力を身につける①(メッセージポスター)
- 第6回 実践的表現力と技術力を身につける②(イベント告知ポスター)
- 第7回 実践的表現力と技術力を身につける②(イベント告知ポスター)
- 第8回 実践的表現力と技術力を身につける②(イベント告知ポスター)
- 第9回 実践的表現力と技術力を身につける②(イベント告知ポスター)
- 第10回 実践的表現力と技術力を身につける②(イベント告知ポスター)
- 第11回 実践的表現力と技術力を身につける②(イベント告知ポスター)
- 第12回 プレゼンテーション、講評
- 第13回 進級制作課題(イベント告知ポスター)
- 第14回 進級制作課題(イベント告知ポスター)
- 第15回 進級制作課題(イベント告知ポスター)

■教科書： デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり (専任教員)
実務経験： 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。ポスターや新聞広告、パンフレット、パッケージデザインなど様々な印刷物の制作を担当。

科目名： **基礎デザインⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 前期で習得した「文字」の基礎知識と技術を踏まえ、基本エレメントを意識したデザインへ展開(フォントデザイン)。グラフィックデザインにおける記号(単化形成、ピクトグラム、シンボルマーク等)の社会的な役割・必要性や制作プロセスを理解し、演習課題を通じて表現力を強化する。

■到達目標： 1:「文字」の基礎知識や柔軟な発想力を発揮し、完成度の高い作品を仕上げられる。
2: プレゼンテーションで相手に制作意図を的確に伝えることが出来る。

■授業計画：

- 第1回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第2回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第3回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第4回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第5回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第6回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第7回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第8回 オリジナル・フォントデザイン(コンペ対応課題)
- 第9回 グラフィックデザインにおける記号(単化形成)
- 第10回 グラフィックデザインにおける記号(単化形成)
- 第11回 グラフィックデザインにおける記号(ピクトグラム)
- 第12回 グラフィックデザインにおける記号(ピクトグラム)
- 第13回 グラフィックデザインにおける記号(シンボルマーク)
- 第14回 グラフィックデザインにおける記号(シンボルマーク)
- 第15回 グラフィックデザインにおける記号(シンボルマーク)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：木野村 博人 (非常勤講師)
実務経験：広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名： **広告デザイン演習Ⅰ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：60時間
単 位：2単位

- 科目概要： 感覚的なものも大事にしつつ、基本的なルールを踏まえたうえで、情報の整理やレイアウトの効果を意識して、見る人に働きかける広告物について考察する。また企業連携によるクライアントワークに取り組み、入稿用データの作り方等、実践的なスキルを高める。
- 到達目標： 1: コピー・文字情報・色・書体等の細かな作業を丁寧に行うことができる。
2: パターンやルールを覚え、どのような環境でも素早く作業を進められる。
3: 入稿用データの基本的なルールを理解してDTP作業ができる。

■授業計画：

- 第1回 企業連携課題：イベント告知ポスター(クライアントによるオリエンテーション)
- 第2回 企業連携課題：イベント告知ポスター(アイデア出しと打合せ)
- 第3回 企業連携課題：イベント告知ポスター(実制作)
- 第4回 企業連携課題：イベント告知ポスター(実制作)
- 第5回 企業連携課題：イベント告知ポスター(実制作)
- 第6回 企業連携課題：イベント告知ポスター(実制作)
- 第7回 企業連携課題：イベント告知ポスター(デザインチェック)
- 第8回 企業連携課題：イベント告知ポスター(デザイン最終チェック)
- 第9回 企業連携課題：イベント告知ポスター(デザイン最終修正、仕上げ)
- 第10回 企業連携課題：イベント告知ポスター(プレゼンテーション)
- 第11回 新聞広告制作①
- 第12回 新聞広告制作②
- 第13回 新聞広告制作③
- 第14回 新聞広告制作④
- 第15回 新聞広告制作⑤

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 曾澤 浩一 (非常勤講師)
実務経験： 広告制作会社を運営し、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名： **印刷・レイアウト演習**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

- 科目概要： デジタル入稿による小冊子制作演習を通じて、文字組とレイアウトの強化を図り、正しい情報の選択とリサーチや取材力を身に付ける。校正記号や入稿プロセスを学習し、適切な入稿用データを作れるようにする。広告ツール制作では、デジカメ撮影を行い、立体的な構図を意識させ効果的な広告を作れるように学習する。
- 到達目標： (1)印刷物の制作プロセスを理解しデジタル入稿に必要なスキルが身に付いている。
(2)チーム作業を通じて、最後まで責任をもって担当作業に臨むことが出来る。
(3)ビジュアルや文字をバランス良くレイアウトできる。
(4)クライアントやターゲットに沿った企画立案ができる。

■授業計画：

- 第1回 演習①広告ツール制作(「ビジュアル演習」で制作した立体物を撮影、広告媒体のデザイン)
- 第2回 演習②小冊子制作(チームミーティング)
- 第3回 演習②小冊子制作(ラフ制作・企画とレイアウトのチェック)
- 第4回 演習②小冊子制作(情報収集・取材・撮影)
- 第5回 演習①広告ツール制作(撮影した写真に効果的なコピーや文字情報をレイアウト)
- 第6回 演習①広告ツール制作(撮影した写真に効果的なコピーや文字情報をレイアウト)
- 第7回 演習②小冊子制作(情報収集・取材・撮影)
- 第8回 演習②小冊子制作(情報収集・取材・撮影・データ制作)
- 第9回 演習②小冊子制作(データ制作・デザインチェック)
- 第10回 演習②小冊子制作(データ制作・デザインチェック・初校)
- 第11回 演習②小冊子制作(初校戻し・データ修正)
- 第12回 演習②小冊子制作(データ修正・チェック・再校)
- 第13回 演習②小冊子制作(再校戻し・最終修正)
- 第14回 演習②小冊子制作(最終修正・校正)
- 第15回 演習②小冊子制作(入稿用データ完成・出力紙とデータを提出)

■教科書： デザイナーズハンドブック、デザイナーズハンドブックレイアウト編

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 広告制作会社、印刷会社のクリエイティブ部門でグラフィックデザイナーとして勤務後、スポーツイベント企画運営会社にてデジタル媒体の企画・制作などを担当。

科目名： **DTP演習Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： (1) IllustratorやPhotoshopのアプリケーション操作、データ管理の熟知
(2) 検定受験や進級制作に向けた知識と技術のスキルアップ

■到達目標： (1) 進級制作に向けて、自分のやりたい表現がアプリケーションを使って制作することが出来る。
(2) 印刷に対応するデータを作ることが出来る。
(3) 12月 Illustrator・Photoshop検定試験の受験者全員合格

■授業計画：

- | | |
|------|---|
| 第1回 | Illustrator・Photoshopの復習。
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化 |
| 第2回 | Illustrator・Photoshopの復習。
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化 |
| 第3回 | Illustrator・Photoshopの復習。
Photoshopの重要機能や弱点部分の強化 |
| 第4回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第5回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第6回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第7回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第8回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第9回 | 演習課題(画像と文字を配置したレイアウト・文字情報のまとめ方・表紙・タイトルロゴ・ビジュアルの表現方法・入稿用データ制作・データチェック) |
| 第10回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第11回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第12回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第13回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第14回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |
| 第15回 | 検定試験問題集を使用した各操作のトレーニング |

■教科書： 『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』
『入稿データのつくりかた』

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 高橋 朋代 (非常勤講師)
実務経験： Web制作会社にWebデザイナー・ディレクターとして勤務したのち独立。主にUI設計・デザイン・WordPress構築に携わっている他、入門者向け書籍の執筆活動も行っている。

科目名： **Webデザイン I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： HTML/CSSを使ったコーディングの基礎を習得する。また、さまざまなWebサイトに触れ、Webデザインならではの仕組みや特徴を理解する。ピクセルや解像度、RGBカラーなどディスプレイの仕組みを理解する。PCやスマートフォン、タブレットなどの様々なデバイスに対応したWebデザインの考え方を学ぶ。

■到達目標： (1)IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで、バナーやアイキャッチ画像、ヒーローイメージなどのWeb用画像を作成できる
(2)HTML/CSSコーディングの基礎を理解し、簡単なコーディングができる

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 身近なインターネットとWeb・Webブラウザ
- 第3回 課題1:バナー作成1(ピクセルと解像度・Web用の画像作成HTML基礎)
- 第4回 HTMLリンク作成、画像挿入Web用画像の保存形式
- 第5回 課題2:バナー作成2(課題1デザインレビュー効率的なHTMLページの作成)
- 第6回 絶対パスと相対パス、表の挿入、class・id属性
- 第7回 課題2デザインレビュー(Webページの装飾とCSS基礎)、課題3:アイキャッチ画像作成
- 第8回 Webでの色とフォント
- 第9回 課題3デザインレビュー、ボックスモデル、課題4:ヒーローイメージ作成
- 第10回 様々なCSSプロパティ・テクニック
- 第11回 課題4デザインレビュー、マルチデバイス(スマートフォン・タブレット)対応
- 第12回 Webサイト作成サービスの利用、冬休み課題Webページの構成とワイヤーフレーム①
- 第13回 Webサイト作成サービスの利用、冬休み課題Webページの構成とワイヤーフレーム②
- 第14回 Webサイト作成サービスの利用、冬休み課題Webページの構成とワイヤーフレーム③
- 第15回 課題講評

■教科書： HTML&CSS3レッスンブック

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：小森 学 (非常勤講師)
実務経験：カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。主に広告写真撮影、人物写真撮影等を手掛けている。

科目名： **撮影基礎**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：一眼レフカメラの基本操作と撮影の基礎を学び、各自のクリエイティブワークへ活かす。写真をヴィジュアルとする場合の画面構成や人物の配置、表情の重要性を学びより実践的な表現力を習得する。

■到達目標：1: 一眼レフカメラの基本操作と簡易的な照明を用いた撮影ができる
2: 自分の求めるクリエイティブワークに写真表現を取り入れ表現領域を広げる

■授業計画：

- 第1回 撮影基礎①(屋外での撮影、露出・シャッタースピード・絞り)
- 第2回 撮影基礎②(屋内での撮影、露出・シャッタースピード・絞り)
- 第3回 撮影基礎③(人物撮影)
- 第4回 撮影基礎④(人物撮影)
- 第5回 静物・商品撮影実習①(商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第6回 静物・商品撮影実習②(商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第7回 静物・商品撮影実習③(商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第8回 静物・商品撮影実習③(商品撮影、ライティング・構成・背景)
- 第9回 商品広告撮影実習①(ラフをもとに商品や小物をライティング、背景を構成する)
- 第10回 商品広告撮影実習②(ラフをもとに商品や小物をライティング、背景を構成する)
- 第11回 商品広告撮影実習③(ラフをもとに商品や小物をライティング、背景を構成する)
- 第12回 人物写真広告撮影実習①(企業・ブランドなどを想定し人物写真で広告を制作)
- 第13回 人物写真広告撮影実習②(企業・ブランドなどを想定し人物写真で広告を制作)
- 第14回 人物写真広告撮影実習③(企業・ブランドなどを想定し人物写真で広告を制作)
- 第15回 人物写真広告撮影実習④(企業・ブランなどを想定し人物写真で広告を制作)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 美絵 (専任教員)
実務経験：大手印刷会社の包装開発部門で、ディレクターとして勤務。商品企画およびパッケージデザインのアートディレクションに携わる。JPDA(日本パッケージデザイン協会)会員。

科目名：パッケージデザインⅠ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：1年次
開講学期：後期
授業時数：30時間
単 位：1単位

■科目概要：市場に出回っているパッケージにはどのような種類(構造・包装材料・印刷方式等)と機能(情報伝達・商品保護・可搬性等)があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について理解する。

■到達目標：1: 代表的なパッケージの種類について身の回りにある商品から事例を探ることが出来る。
2: パッケージデザインが果たす店頭広告効果、イメージ戦略的效果を理解している。
3: 既存商品・競合商品をリサーチし、消費者ニーズを踏まえた商品企画を提案できる。

■授業計画：

- 第1回 パッケージの種類と機能(事例研究)
- 第2回 商品企画とデザイン①(マーケットリサーチ)
- 第3回 商品企画とデザイン②(企画立案)
- 第4回 商品企画とデザイン③(実制作)
- 第5回 商品企画とデザイン④(プレゼンテーション)
- 第6回 地域の商品とデザイン①(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第7回 地域の商品とデザイン②(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第8回 地域の商品とデザイン③(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第9回 地域の商品とデザイン④(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第10回 地域の商品とデザイン⑤(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第11回 地域の商品とデザイン⑥(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第12回 地域の商品とデザイン⑦(コンペ課題: 地元企業の商材をもとにパッケージデザインを)
- 第13回 季節感とデザイン①(企画立案: パターンを用いた店舗用パッケージ)
- 第14回 季節感とデザイン②(実制作: パターンを用いた店舗用パッケージ)
- 第15回 季節感とデザイン①(実制作、プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：パッケージデザインの教科書、デザイン歳時記

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：菊地 和広 (非常勤講師)
実務経験：大手印刷会社・広告代理店・デザインプロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。グラフィックデザイン全般に携わっている。

科目名： **グラフィック表現テクニック**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：アートディレクター・グラフィックデザイナーにとって重要視される「独創性」「着眼点」に対し、「表現」というフィルターを通して感性を磨くと共に、各自が秘めている可能性を見つけ出す。

■到達目標：(1)様々な表現に見る・触れることで、作り手の着眼点を発見できる。
(2)オリジナルの表現を作る・見せることで、新たな可能性を引き出すことが出来る。

■授業計画：

- 第1回 学外展示用グラフィック制作(ポスター①)
- 第2回 学外展示用グラフィック制作(ポスター②)
- 第3回 学外展示用グラフィック制作(ポスター③)
- 第4回 学外展示用グラフィック制作(ポスター④、ガリ版作品①)
- 第5回 学外展示用グラフィック制作(ガリ版作品②)
- 第6回 学外展示用グラフィック制作(ZINE①)
- 第7回 学外展示用グラフィック制作(ZINE②)
- 第8回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作①(B1ポスター)
- 第9回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作②(B1ポスター)
- 第10回 学外展示 会場搬入・展示作業
- 第11回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作③(B1ポスター)
- 第12回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作④(B1ポスター)
- 第13回 JAGDA学生グランプリ 応募作品制作⑤(B1ポスター)
- 第14回 2words,1image①
- 第15回 2words,1image②

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 幸子 (非常勤講師)
実務経験：フリーランスのアートディレクター・グラフィックデザイナー。主にアーティストやバンドのツアーグッズ等の商品企画およびアートディレクション・グラフィックデザインを担当。

科目名：インフォメーションデザイン

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：(1)コミュニケーションツールとして、インフォグラフィックスを用いて自己表現する。
(2)複雑な情報を整理・分析し、他社に分かりやすく伝えるための表現方法を学ぶ。
(3)編集やレイアウトの工夫で、より効果的に電タウする方法を学ぶ。

■到達目標：(1)伝えたい情報を可視化する力を養う。
(2)収集した情報を整理する力と、さまざまなインフォグラフィックスの特性を理解し、コンセプトに沿ったビジュアルで表現する力を養う。
(3)効果的に伝達する表現力を身につける。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 インフォグラフィックスによる自己表現①(自己紹介インフォグラフィックス制作)
- 第3回 インフォグラフィックスによる自己表現②(インフォグラフィックスを用いて自己紹介)
- 第4回 情報の整理・分析・表現①(企画・情報収集)
- 第5回 情報の整理・分析・表現②(打ち合わせ・ラフ制作)
- 第6回 情報の整理・分析・表現③(ラフチェック・実制作)
- 第7回 情報の整理・分析・表現④(実制作)
- 第8回 情報の整理・分析・表現⑤(実制作)
- 第9回 情報の整理・分析・表現⑥(仕上げ・チェック)
- 第10回 情報の編集①(レイアウト・ラフ制作)
- 第11回 情報の編集②(レイアウト・実制作)
- 第12回 情報の編集③(実制作)
- 第13回 情報の編集④(実制作)
- 第14回 情報の編集⑤(仕上げ・プレゼン)
- 第15回 情報の編集⑥(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：碓井 雅博 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店でクリエイティブディレクターとして勤務。多くの企業、自治体などのTVCM、CI、広告キャンペーンを手掛ける。

科目名： **コミュニケーションデザイン**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：あらゆるデザインの前提になるのが「コミュニケーション」であることを踏まえ、1年時の「コンセプトメイキング」の授業をより実践的な形で継承することで、思考＞発見＞表現＞評価の一貫した作業を通じて、人とデザイン、社会とデザインの関わりを学習する。

■到達目標：グラフィックだけにとどまらず、デザインという仕事の多面性、広範性を理解し、社会におけるデザインの意義や価値を見出すことができるような視点とマインドを持てるようになること。各人が卒業後の職業としてデザインとどう関わっていくかを模索し、意思決定することを目指す。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 企業連携に向けての準備
- 第3回 課題1:企業連携①(企業からのオリエンテーション)
- 第4回 課題1:企業連携②(店舗視察、コンセプトを構築)
- 第5回 課題1:企業連携③(実制作)
- 第6回 課題1:企業連携④(実制作)
- 第7回 課題1:企業連携⑤(実制作)
- 第8回 課題1:企業連携⑥(実制作)
- 第9回 課題1:企業連携⑦(プレゼンテーション)
- 第10回 課題2:コミュニケーションデザイン実習①(オリエンテーション)
- 第11回 課題2:コミュニケーションデザイン実習②(課題の発見、解決のためのソリューションを)
- 第12回 課題2:コミュニケーションデザイン実習③(実制作・PDCA)
- 第13回 課題2:コミュニケーションデザイン実習④(実制作・PDCA)
- 第14回 課題2:コミュニケーションデザイン実習⑤(プレゼンテーション)
- 第15回 課題2:コミュニケーションデザイン実習⑥(まとめ)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：曾澤 浩一（非常勤講師）
実務経験：広告制作会社を営み、自身もグラフィックデザイナーとして広告制作を手掛けている。

科目名： **広告デザイン演習Ⅱ**

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：課題制作を通じて、広告制作の現場が今必要としている人材を育成していく。広告とは何か？ということをも改めてしっかりと理解し、実際の仕事におけるデザイナー・アートディレクターとして制作プロセスを学ぶ。

■到達目標：(1)コピーライティング・タイポグラフィ・撮影等、総合的な広告制作のノウハウやスキルが身に付いている。
(2)1つの着地点に対して多面的なアプローチが出来る。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション、広告について
- 第2回 コピーライティングを意識したコンペ①
- 第3回 コピーライティングを意識したコンペ①
- 第4回 コピーライティングを意識したコンペ①(プレゼンテーション)
- 第5回 課題1:オリジナルフォントを使用した広告展開
- 第6回 課題1:オリジナルフォントを使用した広告展開
- 第7回 課題1:オリジナルフォントを使用した広告展開
- 第8回 課題2:コラボプロジェクト(5個パックパッケージ制作)
- 第9回 課題2:コラボプロジェクト(5個パックパッケージ制作)
- 第10回 課題2:コラボプロジェクト(5個パックパッケージ制作)
- 第11回 課題2:コラボプロジェクト(プレゼンテーション)
- 第12回 課題2:コラボプロジェクト⑥(B1ポスターの企画制作)
- 第13回 課題2:コラボプロジェクト⑥(B1ポスターの企画制作)
- 第14回 課題2:コラボプロジェクト⑥(B1ポスターの企画制作)
- 第15回 課題2:コラボプロジェクト⑥(B1ポスターの企画制作・プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：木野村 博人（非常勤講師）
実務経験：広告制作会社、印刷会社デザイン部にグラフィックデザイナーとして勤務したのち独立。主にグラフィックデザイン・ブックエディトリアル・パッケージ・CI・サイン等を手掛けている。

科目名：DTP演習Ⅲ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：制作演習を通じてInDesignの基礎操作を学びながら、マージンや文字組に配慮したレイアウト力を強化する。小冊子制作では企画力の向上も図り、現場に即した制作のワークフローを学びながら、InDesignによる入稿を行う。

■到達目標：
1:各アプリケーションの応用技術を身に付け、制作物に応じたソフトの選択ができる。
2:InDesignの基本操作と実践的なフィニッシュワークを理解し、オペレーション出来る。
3:冊子制作の企画立案・取材・協働作業・校正の技術を身に付けている。
4:これまで身に付けた知識と技術を活かし、制作物の完成度を高めることが出来る。

■授業計画：

- 第1回 アプリケーション基礎①
(InDesignの基本操作・他のアプリケーションとの相違点・DTPのワークフロー)
- 第2回 アプリケーション基礎②(ドキュメント設定と文字入力)
- 第3回 アプリケーション基礎③(書式設定とスタイル設定)
- 第4回 アプリケーション基礎④(画像配置と編集)
- 第5回 アプリケーション基礎⑤(カラーと効果・オブジェクトの操作)
- 第6回 アプリケーション基礎⑥(表の制作と応用)
- 第7回 アプリケーション基礎⑦(復習と入稿時の諸注意点)
- 第8回 ブックレット制作①(チームミーティング)
- 第9回 ブックレット制作②(チーム企画立案・ページネーションとタイトル決定)
- 第10回 ブックレット制作③(実制作作業)
- 第11回 ブックレット制作④(実制作作業)
- 第12回 ブックレット制作⑤(データ仕上げ・初校)
- 第13回 ブックレット制作⑥(校正・データ修正)
- 第14回 ブックレット制作⑦(再校・データ修正)
- 第15回 ブックレット制作⑧(アウトライン化・データ確認・入稿データ提出)

■教科書：世界一わかりやすいInDesign操作とデザインの教科書

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務。
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務。

科目名： **DTP演習Ⅳ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： (1)一年次で習得したアプリケーションの応用、卒業制作に向けた入稿データ制作方法について学ぶ。
(2)オフセット印刷を主とした印刷に関する知識を深め、検定試験に対応した学習を通じてスキル定着を目指す。

■到達目標： (3) 就職活動用ポートフォリオ制作を通じて構成力や応用能力を養う。
(1)印刷物となるデジタルデータについて、制作上の注意点をセルフチェック出来る。
(2)制作物に応じて各種アプリケーションを組み合わせる事が出来る。
(3)卒業制作や就職後、業務に対応出来る技術力・デザイン力・表現力が身についている。

■授業計画：

- | | |
|------|--|
| 第1回 | PC設定及び動作確認、操作・ファイル管理などの再確認 |
| 第2回 | コンペ課題 アイディアチェック及びデータ制作
コンペ課題①(データ制作) |
| 第3回 | コンペ課題①(データ制作) |
| 第4回 | コンペ課題①(データ制作) |
| 第5回 | コンペ課題①(データ制作) |
| 第6回 | コンペ課題①(データ制作・データ仕上げ) |
| 第7回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第8回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第9回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第10回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第11回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第12回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第13回 | コンペ課題、検定対策(Illustrator/Photoshop)就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第14回 | 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |
| 第15回 | 卒業制作 企画書制作、就職活動用ツール及びポートフォリオ作成 |

■教科書：

■参考書： 『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』
『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』
『入稿データのつくりかた』

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 朋代（非常勤講師）
実務経験：Web制作会社にWebデザイナー・ディレクターとして勤務したのち独立。主にUI設計・デザイン・WordPress構築に携わっている他、入門者向け書籍の執筆活動も行っている。

科目名：WebデザインⅡ

履修形態：必修
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：Adobe XDを利用し、PC向け・スマートフォン向け、それぞれの画面サイズに適したWebページのデザインカンブを作成する方法を学ぶ。DTPデザインとWebデザインの違いを知り、Web特有のグリッドシステムやフォントを理解する。ワークショップを通して、Webサイトの目的やユーザー視点を体験する。

■到達目標：(1) Adobe XDで、HTML/CSSコーディングに配慮したデザインデータを作成できる。
(2) さまざまなWebサイトに触れ、その目的や仕組み・構成への理解を深める
(3) Webサイトの制作ワークフローを理解し、目的にあわせたデザイン提案ができる。

■授業計画：

- 第1回 Adobe XDの基本、課題1:ワイヤーフレーム作成
- 第2回 共通デザインパーツの共有
- 第3回 スマートフォン版デザインカンブ、Webデザインのフォント
- 第4回 課題2:ワイヤーフレーム作成
- 第5回 プロトタイプ
- 第6回 デスクトップ版デザインカンブ
- 第7回 課題3:ワイヤーフレーム作成
- 第8回 Retinaディスプレイ
- 第9回 動きのあるUI制作
- 第10回 課題4:Webサイトの構成を考える
- 第11回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習①
- 第12回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習②
- 第13回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習③
- 第14回 ワイヤーフレーム・デザインカンブ課題作成実習④
- 第15回 課題提出と講評

■教科書：Adobe XD ではじめるWebデザイン & プロトタイピング

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：引地 幸生 (非常勤講師)
実務経験：広告代理店クリエイティブディレクターとして勤務後独立。Design Administrator(デザイン管理者)として企業ブランドに関わる商品開発やパッケージデザイン、コミュニケーションデザイン

科目名： **専門技術演習A(ブランディングデザイン)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：ブランドという概念やデザインがブランドに果たす重要な役割について理解してもらうと同時に、ブランディングデザインの考え方や手順、発信方法について課題を通して学習する。

■到達目標：ブランディングの手法を通して、幅広い発想力や表現力、企画力、プレゼンテーション力を養う。

■授業計画：

- 第1回 ブランディングデザインとは？
- 第2回 ブランディングデザインの手法を学ぶ①
(ブランド・ファウンデーションとRIOスプリングボードを活用した方法)
- 第3回 ブランディングデザインの手法を学ぶ②
グループワークによるブランド・ファウンデーション(リサーチと分析)
- 第4回 ブランディングデザインの手法を学ぶ③
グループワークによるブランド・ファウンデーション(コンセプトづくり)
- 第5回 ブランディングデザインの手法を学ぶ④
プレゼンテーション・講評
- 第6回 商品ブランディング①
- 第7回 商品ブランディング②
- 第8回 商品ブランディング③
- 第9回 商品ブランディング④
- 第10回 商品ブランディング⑤(プレゼンテーション・講評)
- 第11回 トータルブランディング①
- 第12回 トータルブランディング②
- 第13回 トータルブランディング③
- 第14回 トータルブランディング④
- 第15回 トータルブランディング⑤(プレゼンテーション・講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：野村 ソウ (非常勤講師)
実務経験：グラフィックデザイン制作プロダクションにてアートディレクション・グラフィックデザイン、ブランディングを担当。また、飲食店の会社でプロデューサーとして様々な業態の開発・経営に携わ

科目名： **専門技術演習A(アートディレクション)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：(1)アートディレクションの解説
(2)アートディレクションの研究
(3)アートディレクションの学習・実践

■到達目標：アートディレクションの基礎知識の習得をしながら表現力を育て、型にはまらないアイデアを基軸にしたデザイン思考を伴うアートディレクション能力を培う。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 アートディレクション解説
- 第3回 アートディレクション研究
- 第4回 アートディレクションの学習①(自分のパーソナリティーをアートディレクション)
- 第5回 アートディレクションの学習②(自分のパーソナリティーをアートディレクション)
- 第6回 アートディレクションの学習③(自分のパーソナリティーをアートディレクション)
- 第7回 アートディレクションの学習④(自分のパーソナリティーをアートディレクション)
- 第8回 アートディレクションの学習⑤(プレゼンテーション、ディスカッション)
- 第9回 アートディレクションの実践①(お店をアートディレクション)
- 第10回 アートディレクションの実践②(お店をアートディレクション)
- 第11回 アートディレクションの実践③(お店をアートディレクション)
- 第12回 アートディレクションの実践④(お店をアートディレクション)
- 第13回 アートディレクションの実践⑤(お店をアートディレクション)
- 第14回 アートディレクションの実践⑥(お店をアートディレクション)
- 第15回 アートディレクションの実践⑦(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：小森 学 (非常勤講師)
実務経験：カメラマンとして商業写真撮影スタジオ勤務数社を経て独立。主に広告写真撮影、人物写真撮影等を手掛けている。

科目名： **専門技術演習A(撮影テクニック)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：一眼レフカメラの基本操作・撮影方法(シャッタースピード・絞りの設定・操作等)の基礎を習得し、簡易的なライティング・レフ板・自然光の使い方などの撮影技法の応用を学び、広告制作へ使用する写真撮影の実践と写真表現への理解を深める。

■到達目標：(1)基本技術を体得し各自のクリエイティブワークへ活かすことが出来る。
(2)写真をビジュアルとする場合のシチュエーション・画面構成・人物や商品の配置・表情の重要性を理解し、それらを意識した表現ができる。

■授業計画：

- 第1回 撮影基礎(カメラの基本操作・フレーミング)
- 第2回 撮影応用(露出の決定と自然光からライトの光源の使用法)
- 第3回 写真表現実習①(光の見極めやスローシャッターなど独創的な撮影テクニックの実践)
- 第4回 写真表現実習②(Photoshopでのレタッチ実習)
- 第5回 写真表現実習③(Photoshopでのレタッチ実習)
- 第6回 人物撮影基礎(屋外でのレフやストロボを使用したロケーション撮影、背景の選び方)
- 第7回 人物自由撮影(屋外ロケーションでの人物撮影)
- 第8回 ライティング基礎(ストロボ1灯、ディフューザーを使用した効果的なライティングの構築)
- 第9回 ライティング応用(ストロボ複数、ディフューザーを使用した効果的なライティングの構築)
- 第10回 商品撮影実習(ストロボ1灯、ディフューザーを使用した効果的なライティングの構築、レタッチ)
- 第11回 人物撮影実習(ストロボ1灯、ディフューザーを使用した効果的なライティングの構築、レタッチ)
- 第12回 写真表現実習(各自のテーマによる撮影)
- 第13回 広告物制作(写真をメインビジュアルとした広告物の制作①)
- 第14回 広告物制作(写真をメインビジュアルとした広告物の制作②)
- 第15回 広告物制作(プレゼンテーション・講評)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：高橋 美絵 (専任教員)
実務経験：大手印刷会社包装開発部門で、ディレクターとして商品企画提案およびパッケージデザインの
アートディレクション等を担当

科目名： **専門技術演習B(パッケージデザインⅡ)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：市場に出回っているパッケージにはどのような種類(構造・材料・印刷方式・表面加工等)があるのか学習し、パッケージデザインが消費者に対して果たしている役割について、情報伝達・商品保護・販売促進等の観点から考察する。演習課題ではマーケットリサーチ・企画立案・実制作・プレゼンテーションまで行う。

■到達目標：
1: パッケージの代表的種類とその名称・構造・材料・用途を理解している。
2: パッケージが果たしている情報伝達機能について考察し実際の商品デザインに応用できる。
3: 与えられたテーマについて消費者ニーズを踏まえた企画アイデアを立案できる。
4: 制作物と提案内容についてわかりやすくまとめ、第三者へプレゼンテーションできる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション・概論①(パッケージの代表的種類)
- 第2回 軟包装のデザイン①(情報収集と分析)
- 第3回 軟包装のデザイン②(企画立案、ラフ案制作)
- 第4回 軟包装のデザイン③(データおよびダミー制作)
- 第5回 軟包装のデザイン④(仕上げとプレゼンテーション)
- 第6回 リニューアルデザイン①(テーマ商品と競合他社についてリサーチ・分析)
- 第7回 リニューアルデザイン②(デザインコンセプト、ラフ案制作)
- 第8回 リニューアルデザイン③(データおよびダミー制作)
- 第9回 リニューアルデザイン④(データおよびダミー制作)
- 第10回 リニューアルデザイン⑤(仕上げとプレゼンテーション)
- 第11回 概論②(紙器の構造・用紙・展開図・組立・表面加工)
- 第12回 紙器のギフト商品企画①(地元商材を活用したギフト商品の企画立案)
- 第13回 紙器のギフト商品企画②(図面と試作)
- 第14回 紙器のギフト商品企画③(データおよびダミー制作)
- 第15回 紙器のギフト商品企画④(仕上げとプレゼンテーション)

■教科書：

■参考書： パッケージデザインマーケティング、箱の設計

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：どこで、誰が、どんな商品を買っているのか、作り手と消費者をつなぐために必要な情報は何か、売り場へ積極的に足を運び、多くの事例を通して探求し、試行錯誤することを求めます。

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：山本 陸子 (非常勤講師)
実務経験：広告制作プロダクションでアートディレクター・グラフィックデザイナーとして全国展開のファッションビル・企業・高等教育機関等のアドバタイジングデザインを担当。

科目名： **専門技術演習B(広告プランニング)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要： 広告をプランニングするためのプロモーションを組み立てる知識、企画力、実現力、そしてクライアントの要望を的確に理解するコミュニケーション力を実践的演習を通し強化する。

■到達目標： (1)訴求するモノ・コトの魅力を分世kしい、第三者へ伝えるための効果的な手段を構築することが出来る。
(2)さまざまなプロモーションつーの内容や媒体特性を理解し、広告に適した情報設計<デザイン>を考え制作することが出来る。

■授業計画：

- 第1回 広告デザイン概論①(広告媒体の種類と特徴を知る)
- 第2回 広告デザイン概論②(広告媒体の種類と特徴を知る)
- 第3回 広告デザイン概論②(コミュニケーションカ的重要性)
- 第4回 課題1:ロゴマーク①(1年次で制作したオリジナルカフェのロゴをブラッシュアップ)
- 第5回 課題1:ロゴマーク②(実作業)
- 第6回 課題1:ロゴマーク③(仕上げ、プレゼンテーション)
- 第7回 課題2:webサイトへの展開(オリジナルカフェのwebサイトコンセプトページ制作)
- 第8回 課題2:webサイトへの展開(仕上げ、プレゼンテーション)
- 第9回 課題3:公共広告ポスター(実制作)
- 第10回 課題3:公共広告ポスター(仕上げ、プレゼンテーション)
- 第11回 広告プランを考える①(商品のセールスプロモーション、企画打ち合わせ)
- 第12回 広告プランを考える②(実作業)
- 第13回 広告プランを考える③(実作業)
- 第14回 広告プランを考える④(仕上げ)
- 第15回 広告プランを考える⑤(プレゼンテーション)

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科：産業デザイン学科
対象専攻：グラフィックデザイン専攻
担当教員：種村 美穂 (非常勤講師)
実務経験：デザイン工房を主催し、デザイナーおよび職人として主にサインデザイン・シルクスクリーン印刷等を手掛ける。北海道美術協会・北海道版画協会会員。

科目名： **専門技術演習B(シルクスクリーン)**

履修形態：選択
授業形態：演習
履修学年：2年次
開講学期：前期
授業時数：60時間
単 位：2単位

■科目概要：水性インクを用いて布にパターンデザインを展開する・油性インクを用いて紙に多色刷りを展開する等、シルクスクリーンの基本技術の習得および印刷特性を踏まえた効果的表現について考察する。また多色刷り中型作品は公募展への出品を想定。

■到達目標：(1)リピート性を活かしたオリジナリティーのあるパターンデザインと配色の工夫ができる。
(2)グラデーションや版の位置合わせができ、構図や配色のバランスを考えた表現ができる。
(3)公募展出品に向け、伸びやかさとオリジナリティーのある表現を工夫できる。

■授業計画：

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 課題1: 布にパターンを刷る①(手ぬぐいのデザイン・製版準備)
- 第3回 課題1: 布にパターンを刷る②(製版・調色)
- 第4回 課題1: 布にパターンを刷る③(刷り・落版、プレゼンテーション、提出)
- 第5回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第6回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第7回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第8回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第9回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第10回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第11回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第12回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第13回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第14回 課題2: 紙に多色で刷る①(公募展出品に向けた中型作品の制作)
- 第15回 課題2: 紙に多色で刷る①(プレゼンテーション、提出)

■教科書：

■参考書：

■成績評価：出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 宮崎昭人 (非常勤講師)
実務経験： Just English Press Ltd.代表取締役。翻訳業務(観光・ビジネス・科学・法務分野等)、海外とのやり取り代行、外国語コンテンツ制作、企業向け英会話講座

科目名： **英語**

履修形態： 必修
授業形態： 講義
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 義務教育で習った英語の基本を再確認し、芸術分野、デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な英語力を習得する。

■到達目標： 英語力の自信を深め、自力でも能力を高めることができるようになるとともに、交換留学生などと積極的に異文化交流ができるような教養を育む

■授業計画：

- 第1回 はじめに：仕事のシーンで間違った英語を使ってしまう感覚を磨く
- 第2回 身の回りの英語：会社名、ブランド名、商品名に使われている英語の意味
- 第3回 英会話基礎：日本語の中の外来語の多さを理解し、英会話の基礎を学ぶ
- 第4回 品詞の理解：辞書の使い方
- 第5回 品詞別重要ポイント①：名詞、冠詞、代名詞の正しい使い方
- 第6回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第7回 品詞別重要ポイント②：動詞(be動詞、一般動詞)、助動詞の使い方
- 第8回 スペルミス防止：作品のタイトル、チラシ、ポスター、看板等に見られる誤表記事例
- 第9回 品詞別重要ポイント④：接続詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞の使い方
- 第10回 翻訳：翻訳の種類(直訳、意訳、超訳とはどのようなものかを理解する)
- 第11回 翻訳：自動的に翻訳される機械翻訳の問題点を理解し、使い方のコツを習得
- 第12回 自己紹介
- 第13回 口語英語表現、英語を必要とする様々なシーン
- 第14回 日常で使用する英語：住所表記、入国カード、日本食の英語表現
- 第15回 まとめ

■教科書： プリント配布

■参考書： 辞書があれば望ましい

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点：

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川: 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田: 広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **キャリアプランニング I**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 自らのキャリア形成について主体的に取り組めるようにするため、キャリアデザイン概念およびデザイン業界の職種とその仕事に対する理解を深める。また、ビジネス能力検定ジョブパス3級受験に向けた学習を通して、職業観の醸成および社会人基礎力の向上を図る。

■到達目標： 1: デザイン業界の仕事およびそれをビジネスとしている企業のリサーチ方法を理解している。
2: デザイナー職とその関連職種について理解している。
3: ビジネス能力検定ジョブパス3級合格。

■授業計画：

- 第1回 キャリアと仕事へのアプローチ
- 第2回 ビジネスとコミュニケーションの基本①
- 第3回 ビジネスとコミュニケーションの基本②
- 第4回 ビジネスとコミュニケーションの基本③
- 第5回 ビジネスとコミュニケーションの基本④
- 第6回 仕事の実践とビジネスツール①
- 第7回 仕事の実践とビジネスツール②
- 第8回 仕事の実践とビジネスツール③
- 第9回 仕事の実践とビジネスツール④
- 第10回 業界研究①
- 第11回 業界研究②
- 第12回 業界研究③
- 第13回 就職活動の進め方と自己分析①
- 第14回 就職活動の進め方と自己分析②
- 第15回 就職活動の進め方と自己分析③

■教科書： ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト

■参考書： プレステップキャリアデザイン

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **キャリアプランニングⅡ**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 2年次
開講学期： 通年
授業時数： 90時間
単 位： 3単位

■科目概要： 就職活動に際し自己をどのようにアピールしていくのが効果的か、具体的な方法を考察しながら、業界のプロとして仕事をする「職業人」となるために求められる要素を自覚するとともに、卒業後の生活設計を具体的にイメージし、ライフデザインプランを立案する。

■到達目標： 1: 卒業後の具体的な生活設計を含めて、自立した社会人として働く自分をイメージできる。
2: 効果的なセルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)を完成させる。
3: 自身の特性を踏まえた業種・職種を絞り込み、具体的な目標として定めることができる。

■授業計画：

- 第1回 自己分析と企業研究① 自身が持つスキルの洗い出しと希望業種・職種のリサーチ
- 第2回 自己分析と企業研究② 自身が持つスキルの洗い出しと希望業種・職種のリサーチ
- 第3回 自己分析と企業研究③ 現場で求められる要素の分析
- 第4回 自己分析と企業研究④ 応募先候補企業のリストアップと対策プラン立案
- 第5回 自己分析と企業研究⑤ 応募先候補企業のリストアップと対策プラン立案
- 第6回 ライフデザイン① 生活設計
- 第7回 ライフデザイン② キャリアプラン
- 第8回 セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作①
- 第9回 セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作②
- 第10回 セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作③
- 第11回 セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作④
- 第12回 セルフプロモーションツール(ポートフォリオ・履歴書・エントリーシート等)の制作⑤
- 第13回 セルフプロモーションツールのブラッシュアップ①
- 第14回 セルフプロモーションツールのブラッシュアップ②
- 第15回 セルフプロモーションツールのブラッシュアップ③

■教科書：

■参考書： プレステップキャリアデザイン

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **職業実践演習**

履修形態： 必修
授業形態： 講義＋演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 60時間
単 位： 2単位

■科目概要： 自らのキャリアプラン(進路設計)を具体的に推進していくために必要なリサーチ力・プレゼンテーション力等の向上を図ると共に、インターンシップ・企業訪問・面接等の具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力を身に付け、希望する業種・職種への就職達成を目指す。

■到達目標： 1: 複数の情報源を活用しながら求人情報を収集し、分析することができる。
2: インターンシップ等を含めた具体的な就職活動に対応できる社会人基礎力が身に付いている。
3: 希望する業種・職種への就職達成。

■授業計画：

- 第1回 情報源(求人票・各種SNS・企業HP・就活サイト等)の活用とリサーチ活動①
- 第2回 情報源(求人票・各種SNS・企業HP・就活サイト等)の活用とリサーチ活動②
- 第3回 ビジネスマナー演習と筆記試験対策①
- 第4回 ビジネスマナー演習と筆記試験対策②
- 第5回 インターンシップ事前対策① 手続きと心構え
- 第6回 インターンシップ事前対策② 知的財産権
- 第7回 書類選考(履歴書・エントリーシート等)対策①
- 第8回 書類選考(履歴書・エントリーシート等)対策②
- 第9回 コミュニケーション演習(面接対策等)①
- 第10回 コミュニケーション演習(面接対策等)②
- 第11回 ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習①
- 第12回 ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習②
- 第13回 ポートフォリオのブラッシュアップとプレゼンテーション演習③
- 第14回 振り返り(就職活動報告書)、改善点の洗い出しと対策
- 第15回 振り返り(就職活動報告書)、改善点の洗い出しと対策

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **前期課題制作 I**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川：広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田：広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **前期課題制作Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 前期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川: 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田: 広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： 後期課題制作 I

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび進級制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 (専任教員)
実務経験： 長谷川: 広告制作会社にグラフィックデザイナーとして勤務
和田: 広告制作会社、印刷会社にグラフィックデザイナーとして勤務

科目名： **後期課題制作Ⅱ**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 30時間
単 位： 1単位

■科目概要： 日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめおよび卒業制作の準備と展開等を踏まえて課題制作を行う。

■到達目標： 必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開し、社会へ発信する力を身に付ける。

■授業計画：

- 第1回 リサーチ
- 第2回 収集情報の分析
- 第3回 アイディア出し
- 第4回 アイディア出し
- 第5回 サムネイル制作
- 第6回 サムネイル制作
- 第7回 成果物チェック
- 第8回 実制作
- 第9回 実制作
- 第10回 実制作
- 第11回 実制作
- 第12回 実制作
- 第13回 ブラッシュアップ
- 第14回 プレゼンテーション・講評会
- 第15回 全体の振り返り・まとめ

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 他 （専任教員）
実務経験：

科目名： **進級制作**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 1年次
開講学期： 後期
授業時数： 180時間
単 位： 6単位

■科目概要： 一年間の学習で身に付けた専攻の専門知識と技術を集大成した作品を制作する。

■到達目標： 一年間の学習の成果が十分に発揮できている作品を完成させる。

■授業計画：

- 第1回 講師打合せ(1) 各課題の内容を確認し、制作内容を各担当講師と打合わせる
- 第2回 講師打合せ(2)
- 第3回 講師打合せ(3)
- 第4回 実制作(1) 打合せ内容に基づき作品制作を行う
- 第5回 実制作(2)
- 第6回 実制作(3)
- 第7回 実制作(4)
- 第8回 実制作(5)
- 第9回 制作内容確認 中間成果物に対して担当講師による内容確認を受ける
- 第10回 ブラッシュアップ(1)
- 第11回 ブラッシュアップ(2)
- 第12回 ブラッシュアップ(3)
- 第13回 ブラッシュアップ(4)
- 第14回 プレゼンテーション準備 審査会に向けて発表資料を作成する
- 第15回 進級制作審査会 作品のプレゼンテーションを行い作品の評価を受ける

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点

対象学科： 産業デザイン学科
対象専攻： グラフィックデザイン専攻
担当教員： 長谷川 かおり、和田 夏美 他 (専任教員)
実務経験：

科目名： **卒業制作**

履修形態： 必修
授業形態： 演習
履修学年： 2年次
開講学期： 後期
授業時数： 450時間
単 位： 15単位

■科目概要： 二年間の学習で身につけた専攻の専門知識と技術の集大成となる作品を制作する。

■到達目標： 専攻分野の特性を十分に発揮したと社会的に評価されるレベルの作品を完成させる。

■授業計画：

- 第1回 コンセプトメイキング 作品のターゲットとテーマを設定する
- 第2回 講師打合せ 担当講師と制作内容を確認
- 第3回 一次審査提出作品制作(1)
- 第4回 一次審査提出作品制作(2)
- 第5回 一次審査提出作品制作(3)
- 第6回 一次審査提出作品制作(4)
- 第7回 プレゼンテーション準備 一次審査に向けての資料作成
- 第8回 一次審査 プレゼンテーション
- 第9回 一次審査フィードバック 講評内容と今後の方向性の確認
- 第10回 最終審査提出作品制作(1)
- 第11回 最終審査提出作品制作(2)
- 第12回 最終審査提出作品制作(3)
- 第13回 最終審査提出作品制作(4)
- 第14回 最終審査提出作品制作(5)
- 第15回 最終審査 プレゼンテーション

■教科書：

■参考書：

■成績評価： 出席状況、取り組み姿勢、提出課題作品の達成度、等を総合的に評価する。

■関連科目：

■履修上の留意点